

総合計画長期ビジョン案のポイント

1 目指す将来像 ～令和 22(2040)年の宮崎県の姿～

【基本理念】安心と希望の未来への展望

- 将来像 1 一人ひとりがいきいきと活躍できる社会
- 将来像 2 安全・安心で心ゆたかに暮らしを楽しめる社会
- 将来像 3 力強い産業と魅力ある仕事があり、安心して働ける社会

2 目指す将来像の実現に向けた今後の方向性

【未来に必要な5つの要素（キーワード）】

- ① 持続可能性
- ② デジタル・先端技術・イノベーション
- ③ 人材力 郷土愛やチャレンジ意欲の醸成、多様な価値観の寛容・包摂
- ④ 地域力 地域間の連携・役割分担、経済循環
- ⑤ きずな・つながり 人のつながりの尊重、互惠・補完

【今後の方向性】

(1) 人口減少を前提とした安心して暮らせる地域社会の維持

- デジタル技術の活用や地域機能の連携・集約による暮らしの維持
- 情報通信環境やデータ関係基盤等の整備・運用
- 防災、減災機能の維持・強化
- エネルギーの地産地消、シェアリングエコノミーの導入
- 活力と新しい知見・価値観をもたらす関係人口の創出・拡大 など

(2) 暮らしを支え、未来を拓く産業づくり

- 新しい技術による付加価値の高い新ビジネスの創出
- 地域の特性を生かした稼げる産業振興や県内企業の育成
- 地域内経済循環と外貨の獲得、海外市場の開拓
- デジタル化、国際化に対応した人材の確保
- 県内外の観光客が感動する観光地域づくり など

(3) 人生を豊かに過ごせる地域づくり

- 健康や生きがいを実感できる自然・スポーツ環境の充実
- 人々が集い、様々な活動を楽しむ賑わいや居心地の良い空間づくり
- 誰もが文化に親しめる機会や交流の創出
- 県民や企業、NPO、自治会など多様な主体との協働による共生社会づくり など

(4) 将来の人口安定化に向けた社会づくり

- 出会いから結婚・出産・子育てまでの切れ目ない支援体制づくり
- 女性が働きやすい職場づくりや男性の家事参画の促進
- 若者、女性の県内就職・定着やUターンの促進
- 場所にとらわれない働き方を促すテレワーク、ワーケーション環境の整備
- 郷土愛を育むふるさと教育の推進やICTを活用した教育環境の充実 など

第2章 目指す将来像 ～R22(2040)年の宮崎県の姿～

【基本理念】

安心と希望の未来への展望

変化の大きい時代にあっても、誰もが楽しさや幸せを実感できる安心と希望ある未来を展望し、本県が目指す将来像を「人」、「暮らし」、「産業」の3つの側面から描きました。

将来像1 一人ひとりが生き生きと活躍できる社会

先人たちから受け継がれてきた豊かな自然や歴史・文化など本県の魅力や良さに加え、子どもを生み育てやすい、理想のライフスタイルを実現できる環境を整えることで、宮崎に「残る」、「戻る」、そして「移る」方が増え、個々の価値観が尊重されながらも互いに共感し合い活躍できる社会を構築します。

また、宮崎に誇りと愛着を持ち、確かな学力やこれからのグローバル・デジタル社会を生き抜く力を持った子どもたちを育てていくことも重要です。

さらには、文化に触れ親しむことで豊かな情操を育んだり、新たなスキルの習得や学び直しができる仕組みを整えるなど、性別や年齢、障がいの有無などにかかわらず、それぞれの個性や能力を發揮し、一人ひとりが生き生きと活躍できる社会の実現を目指します。

(具体的なイメージ)

- 安心して子どもを生み育てやすい環境が整っている。
- 理想の子育てやライフスタイルを実現する場として、都市部からのU I J ターン者が増えている。
- 子どもたち一人ひとりが確かな基礎学力を身につけ、社会を生き抜く力が育まれている。
- キャリア教育やグローバル人材の育成等により、社会に貢献する資質・能力を身に付け、世界で活躍できる若者たちが育っている。
- 宮崎県内で就職、進学したいと思う若者が増えている。
- 子どもだけではなく、大人も学び直しができる仕組みが整い、生活や仕事の充実につながっている。
- 性別や年齢、障がいの有無などに関わらず、一人ひとりが互いに理解・尊重し活躍できる社会になっている。
- 新たなビジネスに挑戦するなど、チャレンジ精神に満ちた個人や企業が増えている。
- 音楽や演劇、美術、食など様々な文化を楽しむ機会が増えている。

将来像2 安全・安心で心ゆたかに暮らしを楽しめる社会

集落同士が地域の医療・福祉など生活に不可欠な機能やサービスを相互に補完・連携し合える仕組みづくりや、世界規模の気候変動により激甚化する自然災害や新たな感染症への対応など、様々なリスクに柔軟に対応できる社会を構築します。

また、経済的な豊かさだけでなく、心のゆたかさを保つため、本県ならではの豊かな自然環境を守り、自然と共生する姿を将来にわたって維持していきます。

さらに、暮らしの様々な場面において、デジタルや先端技術などがもたらす利便性を誰もが享受できる一方で、リアル（対面）での他者とのつながりを大事にしながら、県民自らが望む生活スタイルを実現できるなど、笑顔が溢れ、安全・安心で心ゆたかに暮らしを楽しめる社会の実現を目指します。

（具体的なイメージ）

- 地域の福祉・医療体制が充実し、安心して暮らせる社会になっている。
- 一人ひとりの健康意識が高まり、生活習慣病対策や介護予防・認知症予防の取組が地域ぐるみで実践されている。
- ソフト・ハード両面からの災害への対策が充実している。
- 環境にやさしいライフスタイルが定着し、宮崎の自然が守られている。
- 家庭や企業など、地域において太陽光発電などのクリーンエネルギーが身近な存在になっている。
- リノベーションにより空き店舗や空き家などの新たな利用価値が創出され、中心市街地の賑わいの核として利活用が進んでいる。
- 高速道路等の高速交通網の整備や港湾、空港整備が進み、交通・物流の利便性が向上している。
- 市町村内や市町村間の需要に応じた交通サービスが維持されている。

将来像3 力強い産業と魅力ある仕事があり、安心して働ける社会

先端技術を活用した新たなイノベーションの創出や生産性の向上によって、新たな成長産業が県内各地に展開し、地域経済のけん引役として稼ぐ力を高めるとともに、地域内での経済循環も図ることで、県内産業を活性化させていきます。特に、全国トップクラスの生産力を有する農林水産業をさらに強化し、県内はもとより国内の食料供給県としての地位を確保します。

また、職・住・遊が近接する恵まれた環境の中で、個々の能力や技術を生かした時間に縛られない柔軟な働き方の定着も促していきます。

さらに、全国トップクラスの豊かな食や自然、スポーツ環境など、本県の魅力に人々が感動し、県内外や国外との交流が盛んに行われるようになるなど、力強い産業と魅力ある仕事があり、安心して働ける社会の実現を目指します。

(具体的なイメージ)

- スマート化を推進することにより、基幹産業である農林水産業の生産性が飛躍的に向上している。
- 県内企業が新たな技術を活用して生産性や付加価値の高い事業を展開し、新たな成長産業が創出されている。
- 時代の変化に応じた新たな需要を獲得できるスタートアップ企業が活躍している。
- 価値観の変化に応じて充実した立地環境が認められ、本社機能や研究拠点を県内に展開する企業が増加し、魅力ある雇用の場が生まれている。
- 一人ひとりの希望や事情に応じてフルタイム勤務にとらわれない働き方（短時間勤務、フレックス）や、副業・兼業・テレワークなど、個人の持っている能力・技術を最大限に発揮できる働き方が実現している。
- 豊かな自然や美しい景観、食、伝統文化など、本県の魅力などを通じて県内外や国外からの観光客が増加し、県内経済が活性化している。
- ゴルフ・サイクリング・サーフィンなどのスポーツやアウトドアでのアクティビティを目的とした観光客が増えている。
- スポーツの全国大会や世界大会、キャンプ・合宿が県内各地で盛んに実施されるとともに、スポーツが食、医療など様々な分野と連携することで、スポーツランドみやぎの新しい魅力が創出されている。

第3章 目指す将来像の実現に向けた今後の方向性

私たちが目指す将来像（未来）を実現していくためには、人口減少を前提としながらも、自然や歴史・文化、産業や営みなど本県が有する有形・無形の価値や魅力にこれからの社会に必要な要素を掛け合わせ、さらに新たな価値の創造へとつなげていくことが重要です。

[宮崎の未来] = [独自の魅力・価値] × [5つの要素] = 新たな価値の創造

【未来に必要な5つの要素(キーワード)】

要素1 持続可能性（サステナビリティ）

これからは、経済優先でも環境優先でもない、経済と社会、そして環境が調和することで持続可能性を高めていく時代になります。まさに、豊かな自然の中での営みを大切にしてきた本県が優位性を発揮できる時代です。

また、人口減少が続き、多くの課題を抱える中であっても、全ての県民が幸せや楽しさを感じながら住み続けられる県を目指すことは、SDGsが目指す「誰一人取り残さない」社会づくりと軌を一にするものです。私たちの日々の生活や社会を見つめ直し、課題解決に向けて取組を積み重ねていくことがその実現につながります。

ゼロカーボン社会の実現についても、本県らしいやり方で、ライフスタイルや経済活動を見直していくことが重要です。

要素2 デジタル・先端技術・イノベーション

技術は日々加速度的に進歩しています。新たな技術をうまく活用することで、距離や場所のハンディキャップ、労働力不足などから生じている本県の地域課題を克服できる可能性が広がります。

このため、私たちには、新しい技術を正しく理解し、仕事や暮らしの様々な場面で積極的に受け入れていく柔軟性が求められます。

一方で、新しい技術の導入が、デジタル格差など新たな課題を生じさせないよう注意する必要があります。

また、県外の事例を学び、優れた技術や仕組みを導入することにとどまらず、県内からイノベーションを起こし、新たな価値を生み出していくことも重要です。

要素3 人材力

付加価値の源泉は「資本」から「人材」へと移っており、今後は、人の力をどれだけ結集できるかが課題解決の鍵となります。

まずは、宮崎で生まれた若者たちが、地域の一員として郷土への誇りや愛着を持ち、宮崎の未来を切り拓く力として成長していくことが重要です。

また、この不確実な時代にあっては、先を見通す戦略性や構想力、主体的・積極的に価値を生み出すチャレンジマインドが求められます。

併せて、多くの若者たちから暮らしたい、働きたいと積極的に選ばれるよう地域の魅力を高めていく必要があります。

宮崎が必要とするのは若者の力だけではありません。女性や高齢者、障がい者、外国人など、様々な人々が集い、個性や能力を発揮することで活気が生まれ、新しい価値の創造につながっていきます。

要素4 地域力

今後も人口減少が続く中で地域の営みを維持していくためには、生活に必要なサービスや機能のある程度集約し、効率化していきながら、集落と集落、市町村と市町村、圏域と圏域とが役割を分担し、互いに連携して提供する形へと変わらざるを得ません。

一方で、各地域において、人々がこれからも自律的・主体的な営みを続けるという視点からは、それぞれの持つ特性や魅力をしっかりと守り伸ばすことで、地域への誇りが生まれ、生活の糧にもつながります。

また、地域の生産物（価値）で外貨を稼ぐ（地産外商）ことに加え、地域の中で積極的に消費する（地産地消）、さらには、地域で必要とされるものを地域で生産する（地消地産）ことにより、外的な変化にも柔軟に対応できる経済・産業構造へと変わっていきます。

要素5 きずな・つながり

私たちの社会は、家庭や学校、職場、地域において、人や集団の関わりの中で築き上げられてきたものです。これからも、それぞれの個性や能力、意見などを互いに認め大切にしながら、共感や思いやりの心をもって助け合い、補い合うことで、よりよい地域を目指すことが重要です。

このため、住民同士のコミュニティを強化し、住民と公的部門の協働を深めていく必要があります。さらに、宮崎と県外、海外との交流などを広げることで、新たなつながりが生まれていきます。

また、「人の温かさ」が魅力として挙げられることの多い本県でも、デジタル化の進展に伴い実体験や人間関係の希薄化が危惧されるところです。肌で（リアルに）感じられる本県の良さを理解し未来に残すことが求められます。

【今後の方向性】

1 人口減少を前提とした安心して暮らせる地域社会の維持

- ◎ 買い物や医療など日々の暮らしに必要な機能・サービスを維持していくため、デジタル技術の活用や移動手段の確保を進め、基幹集落と周辺をつなぐ持続可能な交通システムや物流ネットワークを構築します。
- ◎ 市町村の枠を越えて、より広い圏域で連携し、医療、教育、交通など暮らしに必要な機能や資源を融通し合える体制づくりを推進します。
- ◎ 行政手続のオンライン化など、デジタル技術を積極的に活用し、県民がいつでもどこからでも迅速に行政サービスを楽しむ仕組みを構築します。
- ◎ あらゆる分野でデジタル化が進展する中、県民が情報や ICT を身近なものとして受け入れられるよう、情報格差の是正に取り組みながら、高速・大容量の情報通信環境やデータ連係基盤等の整備・運用に取り組みます。
- ◎ 大規模災害時に緊急輸送の重要な役割を担う道路等の公共インフラや防災拠点となる公共施設等の計画的な耐震化対策を実施し、利用者の安全や災害時に求められる施設機能の確保を図ります。
- ◎ 社会情勢や地域のニーズの変化に応じて、老朽化が進む公共施設等の更新・統廃合・長寿命化等を計画的に行い、財政負担の低減化・平準化や公共施設等の最適な配置を図ります。
- ◎ 住民等の災害に対する備えや、自主的・積極的な防災活動を推進するなど、地域の防災力向上に取り組みます。
- ◎ 地域課題解決に向けて、民泊やカーシェアなどの空間・モノの有効活用だけに限らず、時間や人、スキルといった無形の資産などを地域住民や遠隔にいる者同士が共有し、利用できる仕組みづくりに取り組みます。
- ◎ ゼロカーボン社会の実現に向けて、豊富な太陽光やバイオマスなどを活用した環境負荷が少ない再生可能エネルギーの導入拡大を進めるとともに、エネルギーの地産地消の推進にも取り組みます。
- ◎ 将来的な地方移住に加え、地域課題の解決に向けて、交流人口、関係人口の裾野の拡大を図りながら、宮崎を愛してくれるファンづくりに取り組みます。

- ◎ 新たな感染症や未知のウイルスへの対応として、緊急時の医療提供体制の構築や県民の感染症に対する危機意識の醸成など、県民の命と健康を守る体制づくりを推進します。
- ◎ 遠隔医療や介護ロボットなど、先端技術を取り入れながら、現場で働く医師や介護職員などの負担を軽減しつつ、医師の偏在是正など対面での診察やケアも充実した医療・福祉体制の構築に取り組みます。

2 くらしを支え、未来を拓く産業づくり

- ◎ 産学官連携しながら、日々進歩する科学技術等を活用した次世代を担う付加価値の高い新ビジネスの創出や、創業・起業に踏み出そうとする意欲的なスタートアップ企業等が果敢にチャレンジできる環境を整えます。
- ◎ 農林水産物を核としたフードビジネスや、温暖で快適な気候と充実した施設を活用したスポーツランドみやざきなど、本県の豊富な地域資源や強みを生かした稼げる産業の振興や県内企業の育成に取り組みます。
- ◎ 県内企業相互の連携強化や取引拡大、県産の商品・サービスの県内消費の増加、さらには、地域に必要とされるものを地域で生産することにより、地域の経済循環を高める取組を推進します。
- ◎ 今後も市場拡大が見込まれる海外に向けて、農林水産物や加工食品を中心とした県産品の需要を開拓するとともに、県内企業の海外展開や経済交流の拡大に取り組みます。
- ◎ 産業のデジタル化を支えるデジタル人材の育成・確保を図るとともに、女性や障がい者の雇用や高度な知識・技能をもつ外国人材の受入れを促進することで、多様な人材の活躍を推進します。
- ◎ エssenシャルワーカーをはじめ、県民の暮らしや産業を支える労働者が、安心して働ける就業環境の整備に取り組みます。
- ◎ 社会人のキャリアアップなど、学校教育を終えた後でも必要な知識や技術を習得できるよう、大学等と連携を図りながら、「学びの機会」を提供するリカレント教育を推進します。
- ◎ 就労意欲の高い高齢者が年齢にとらわれることなく、個々の能力に応じて自分らしく安心して働くことができる仕組みづくりを促進します。
- ◎ 県民や事業者が社会・経済・環境の持続可能な発展の重要性を共有し、事

業者の持続的な成長や市場競争力強化を図るサステナビリティ経営を推進します。

- ◎ ひと・モノの流れを活発化し、国内外の活力を呼び込むための交通・物流ネットワークのより一層の充実を図ります。
- ◎ 産業の活性化や賑わいの創出に向けて、観光資源に磨きをかけ、ニーズに応じた魅力を引き出すことで、県内外や国外の観光客が感動する観光地域づくりを推進します。

3 人生を豊かに過ごせる地域づくり

- ◎ 充実したスポーツ施設を生かし、誰もが生涯にわたって運動やスポーツに親しみ、生きがいや健康を実感できる機会を創出するとともに、豊かな自然の中で、サイクリングやサーフィン、トレッキングなど、アウトドア活動を楽しむことのできる環境づくりを推進します。
- ◎ 生活習慣病の予防など県民一人ひとりが主体的に行う健康づくりを支援するとともに、健康経営の推進など社会全体で健康を守り支える環境づくりに取り組みます。
- ◎ 地域の祭りやイベントなど、人々が集い、地域コミュニティを育みながら様々な活動が展開されるよう、車中心からひと中心の空間への転換を促す「歩いて楽しめる居心地の良いまちづくり」を推進します。
- ◎ 神楽や神話など長い歴史と豊かな風土に培われた宮崎ならではの文化資源を生かし、地域ごとに特色ある文化活動・交流を推進することで、文化が暮らしの中で息づき、身近に感じることのできる地域づくりに取り組みます。
- ◎ 先人たちが世代を超えて守り、育んできた、豊かな自然や田園風景等の美しい景観を観光や教育活動等に活用することにより、その価値を再認識することで、地域における持続的な自然環境保全の取組を促進します。
- ◎ 年齢や性別、国籍の違いや障害の有無などを越えて新たな魅力や価値を生み出す共生社会づくりに向け、個人や企業、NPO、自治会など地域の構成員による協働の取組を推進します。
- ◎ 福祉・介護・医療・教育などの関係機関が連携し、相談体制や支援制度の充実等を図ることで、ヤングケアラーや貧困・孤立といった困難を抱える人を支える地域づくりに取り組みます。

4 将来の人口安定化に向けた社会づくり

- ◎ 結婚・出産・子育てに幸福感や充実感を得られるように、出会いから結婚までの相談支援や安心して妊娠・出産できる医療体制の構築をはじめ、柔軟な働き方の推進や男性の家事・育児への参画拡大など、ライフステージに切れ目なく対応する支援体制づくりに取り組みます。
- ◎ 豊かな自然や食、文化、子育てしやすい住環境といった宮崎の暮らしやすさや国内外で活躍する県内企業の魅力について、特に若い世代や女性に対する情報発信を充実するなど、若者や女性の県内就職・県内定住に向けた取組を進めます。
- ◎ テレワークやワーケーションなど、時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方に着目したデジタル環境の整備を進めるとともに、地方での暮らしに関心を持つ人々へ情報発信を行うことで、都市部から県内への移住・U I Jターンを促進します。
- ◎ 子どもたちが進学や就職で県外へ出ても、生まれ育った地域に貢献したい、再び県内へUターンして働きたいという思いを抱くように、学校・地域・家庭が連携し、宮崎についての理解を深め、郷土愛を育むふるさと教育を推進します。
- ◎ デジタル活用能力や語学力などこれからの人材に求められる能力のほか、地域課題の解決や新ビジネスの創出につながるチャレンジ精神など、自己実現へと導く教育を推進します。
- ◎ 社会的・経済的な理由で子どもたちが学習の機会をなくすことがないよう、相談体制の充実やI C T教育の推進など、学びのセーフティネットの充実に取り組みます。